

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	食品開発科学科				
科目名称	卒業論文					授業形態			
科目コード	270100	単位数	6単位	配当学年	4	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	永田 さやか							ICT活 用	○
授業概要	食品がもつ様々な有用な成分、特に機能性ペプチドを探索する。ターゲットとする食品は自ら選択し、食品からペプチドを抽出して降圧効果やがん細胞増殖抑制効果、自分達で調べて最終的にレポートしてまとめるまでを習熟する。								
関連する科目	特に「食品機能学」や「食品分析学」、また、「食品基礎実験」や「食品学実験」といった実験授業など。								
授業の進め方 と方法	食品がもつ様々な有用な成分、特に機能性ペプチドを探索する。ターゲットとする食品は自ら選択し、インターネットや学術論文検索（PubMed）を活用しながら自分達で調べて最終的にレポートしてまとめるまでを習熟する。								
授業計画 【第1回】	食品の機能性について 1								
授業計画 【第2回】	食品の機能性について 1								
授業計画 【第3回】	食品の機能性について 2								
授業計画 【第4回】	食品の機能性について 2								
授業計画 【第5回】	卒業研究のテーマの選択								
授業計画 【第6回】	卒業研究のテーマの選択								
授業計画 【第7回】	卒業研究のテーマの決定								
授業計画 【第8回】	卒業研究のテーマの決定								
授業計画 【第9回】	食品サンプルからの成分抽出（特にペプチド） 1								
授業計画 【第10回】	食品サンプルからの成分抽出（特にペプチド） 1								

授業計画 【第11回】	食品サンプルからの成分抽出（特にペプチド） 2
授業計画 【第12回】	食品サンプルからの成分抽出（特にペプチド） 2
授業計画 【第13回】	抽出成分（ペプチド）の精製 1
授業計画 【第14回】	抽出成分（ペプチド）の精製 1
授業計画 【第15回】	血圧上昇抑制効果の確認 1
授業計画 【第16回】	血圧上昇抑制効果の確認 1
授業計画 【第17回】	血圧上昇抑制効果の確認 2
授業計画 【第18回】	血圧上昇抑制効果の確認 2
授業計画 【第19回】	抗菌効果の確認 1
授業計画 【第20回】	抗菌効果の確認 1
授業計画 【第21回】	抗菌効果の確認 2
授業計画 【第22回】	抗菌効果の確認 2
授業計画 【第23回】	がん細胞増殖抑制効果の確認 1
授業計画 【第24回】	がん細胞増殖抑制効果の確認 1
授業計画 【第25回】	がん細胞増殖抑制効果の確認 2
授業計画 【第26回】	がん細胞増殖抑制効果の確認 2
授業計画 【第27回】	補体活性抑制効果の確認 1

授業計画 【第28回】	補体活性抑制効果の確認 1
授業計画 【第29回】	補体活性抑制効果の確認 2
授業計画 【第30回】	補体活性抑制効果の確認 2
授業計画 【第31回】	抽出成分（ペプチド）の精製 2
授業計画 【第32回】	抽出成分（ペプチド）の精製 2
授業計画 【第33回】	液クロによる分析 1
授業計画 【第34回】	液クロによる分析 1
授業計画 【第35回】	液クロによる分析 2
授業計画 【第36回】	液クロによる分析 2
授業計画 【第37回】	血圧上昇抑制効果の確認 3
授業計画 【第38回】	血圧上昇抑制効果の確認 3
授業計画 【第39回】	抗菌効果の確認 3
授業計画 【第40回】	抗菌効果の確認 3
授業計画 【第41回】	がん細胞増殖抑制効果の確認 3
授業計画 【第42回】	がん細胞増殖抑制効果の確認 3
授業計画 【第43回】	補体活性抑制効果の確認 3
授業計画 【第44回】	補体活性抑制効果の確認 3

授業計画 【第45回】	抽出成分（ペプチド）の精製 3
授業計画 【第46回】	抽出成分（ペプチド）の精製 3
授業計画 【第47回】	イオン交換による分析
授業計画 【第48回】	イオン交換による分析
授業計画 【第49回】	研究論文の作成 1
授業計画 【第50回】	研究論文の作成 1
授業計画 【第51回】	研究論文の作成 2
授業計画 【第52回】	研究論文の作成 2
授業計画 【第53回】	研究発表スライドの作成
授業計画 【第54回】	研究発表スライドの作成
授業計画 【第55回】	卒業論文発表会 1
授業計画 【第56回】	卒業論文発表会 1
授業計画 【第57回】	卒業論文発表会 2
授業計画 【第58回】	卒業論文発表会 2
授業計画 【第59回】	まとめと討論
授業計画 【第60回】	まとめと討論

授業の到達目標	自分で問題点やテーマを探すことができるようになる。また、そのテーマに沿ってまとめてレポートと資料を作成し、人前でプレゼンできるようになる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	自分の研究テーマに沿ってあらかじめ調べておくこと。 (30分以上)
授業時間外学習【復習】	実験結果を毎回、まとめておくこと。 (1時間以上)
課題に対する フィードバック	卒業論文は採点し、卒業論文発表会のプレゼンは、その日に解説、改善点について話し合う。また最終授業の際に討論の場を設けて質問などについての解説を行う。
評価方法・基準	テーマに沿って実験研究ができたか、また、卒業論文と卒業論文発表会などを総合的に評価する。 単位を認定するうえで1、2、3年次の卒業論文発表会をすべて出席することを条件とする。
テキスト	必要に応じてプリント資料を配布する。
参考書	PubMedによる論文検索
備考	